

# 図書館通信

2025年6月号

まつさかしょうぎようこうこうとしよかんとしょいいんかい たんとう ねん すぎやま みやけ  
松阪商業高校図書館図書委員会(担当 3年 杉山・三宅)

今回の図書館通信では、伊豆先生におすすめ本をお聞きしました。

「星の王子さま」 著：サン＝テグジュペリ

・伊豆先生よりコメント

皆さんこの本は知っていると思いますが、読んだことはありますか？

本に使われている言葉は小学生でも理解できる言葉です。

でも、表面的な言葉をとらえるのではなく、言葉の奥底の深くて人間的な部分を感じてもらいたい。心に引っかかったら読むのを途中で止めて、今までの経験に思いをはせて、また読書に戻るのを繰り返してもらいたい。そういう本です。

年齢を重ね、人生経験が豊富になるほど「重く変化する本」かもしれません。

「ものは心でしか見ることができない。大切なことは目に見えない。」

伊豆は美輪明宏さんの「目に見えるものは見なさんな」に通ずると感じます。

アイデンティティの形成に自分と苦闘していたり、投影を含め他者との人間関係に困っていたりしている20代後半までの人におすすめです。そうでなくてもおすすめです。

年齢を重ねてから読むと、アルバムをめくるみたいに、昔へ時間旅行に行けますよ。

読むタイミングによっても変化する本です。一回読み終わったら、著者のサン＝テグジュペリの星に行ってみてくださいね。ハッと大切なことに気づくかもしれません。

大人の絵本で「素敵」の一言が似合います。良ければどうぞ。

この話を聞いて実際に読んでみたい  
と思いました。(杉山、三宅)

